

本県の豊富な地域資源を活かして、「こうち型地域還流再エネ事業スキーム」の創設による官民協働での発電事業や、農業用を中心とした木質バイオマスボイラーの導入、木質バイオマス発電所の整備などに取り組んできた結果、固定価格買取制度（H24.7～H27.6優遇期間）の追い風もあり、新エネルギーの導入が大幅に促進されるとともに、新たな雇用の創出にもつながった。今後は、本県の豊富な地域資源の一層の活用を図り、新エネルギーのさらなる導入促進、そして新エネルギーを地域振興に生かしていく。

## これまでの取り組みの成果

- **新エネルギーの導入促進**
  - ・新エネルギーの導入状況  
H23年度当初:86,002kW→H28.2:338,703kW
- **地域還流型の発電事業の推進**
  - ＜木質バイオマス＞
    - ・県内2カ所で木質バイオマス発電所が操業開始⇒直接雇用51人。  
12,750kW（高知市:6,250kW,宿毛市:6,500kW）※FIT認定容量
    - ・農業用を中心とした木質バイオマスボイラーの導入台数（累計）  
H27年度:270台
  - ＜太陽光発電＞
    - ・官民協働による発電事業「こうち型地域還流再エネ事業スキーム」の創設  
6市町村、7カ所、合計出力約10メガワット
  - ＜小水力発電＞
    - ・県公営企業局の小水力発電導入に向けての取組
- **災害に強く、低炭素なまちづくり**
  - ・太陽光発電や蓄電池を防災拠点等77カ所に導入

## 見えてきた課題

- **送電網の脆弱性**
  - ・送電網の脆弱性から、新たな送電設備の整備が必要なため、新たな新エネルギーの事業化が困難な地域が増加している。
- **地域の参画や地域メリットの創出**
  - ・県外資本による事業で地域メリットが少ない。大規模な発電事業については地域の参画が少ない。
- **自然環境や生活環境への影響**
  - ・新エネルギーの導入にあたって、自然環境や生活環境への影響が懸念されている。
- **太陽光発電以外の新エネルギーの導入**
  - ・太陽光発電、木質バイオマス利用以外の新エネルギーの導入があまり進んでいない。

## さらなる挑戦

### 豊富な地域資源の活用

- **新エネルギーのさらなる導入促進**
  - ・課題に対応し、新エネルギーのさらなる導入を図る
  - ・地域で生み出したエネルギーを地域で活用していく地産地消の仕組みづくり
- **新エネルギーを地域振興に生かす**
  - ・県民、県内事業者の参画
  - ・地域への還流・地域への貢献の仕組みづくり

## 新エネルギーの導入状況

